

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	広報広聴会議		会議場所 第3委員会室 担当職員 鈴木 智
日 時	平成30年10月23日(火曜日)	開 議	午前10時 00 分
		閉 議	午前11時 03 分
出席委員	◎小川 ○三上(広報部会長) ○平本(広聴部会長) 富谷 並河 山本 齊藤 (欠席:奥村、石野)		
事務局出席者	片岡事務局長、山内次長、船越副課長、鈴木議事調査係長、山末主事、三宅主事		
傍聴	可	市民0名	報道関係者0名 議員0名(-)

会 議 の 概 要

1 0 : 0 0

[小川委員長 開議]

1 広聴部会活動

(1) 中学生議会について

[平本副委員長 説明]

[副課長 説明]

[事務局主事 説明]

<齊藤委員>

資料の広報部会長の閉会あいさつの文案にある、「新しい風」の「新しい」を削除していただきたい。

<平本副委員長>

あくまで、あいさつの文案であり、そのまま言われるかはわからない。三上副委員長に一任しているものである。

<三上副委員長>

決議案については、作成にあたり生徒の思いを聞くため、各中学校を訪問し昼休みに面会した。参加する生徒の心意気や議会に対する印象、政治に対する思いが聞けた。この会議の後、亀岡川東学園に行くのが最後となり、最終的には各学校長に文案を確認したいと考えている。災害や安全・安心に対する思いも聞いたので、災害へのお見舞いの内容も入れている。議員に対する印象は、あまりなかった。市民の税金をどう使うかを提案するのが市長で、チェックし議決するのが議会ということの説明しておいた。また、再質問や自由討議ができることを知らない生徒もいたので、資料が行きわたっていないと感じた。質問時間はどの程度の効力があるのか。東輝中学校の質問は多いが、答弁だけで15分かかるのではないか。時間が来たら途中で切ってしまうのか。

<齊藤委員>

議会で決めた時間内で質問しなければならないと考える。

<三上副委員長>

学校が質問通告書を提出する際に、質問時間は周知徹底されていたのか。

<議事調査係長>

学校には質問を募る際に、「質問に係る時間配分パターン」という資料を添付し配付した。周知がきめ細かく徹底できていたかという点、考えなければならない点も

あると思っている。また、東輝中学校については、質問をいただいた段階で、担当教諭に時間配分の確認はしたところである。

<齋藤委員>

質問事項を見て優先順位をつけ、省く項目等を決めておくように言うておいてはどうか。市議会議員もそのようにしている。議会としては、時間配分を事前に学校に説明したということであり、それを学校がどう理解しているかは別の話ではないか。

<平本副委員長>

気持ちとしては時間を延長してあげたいが、齋藤委員の言われるとおりで。再度、事務局から時間について学校に助言してはどうか。

<事務局次長>

質問内容を踏まえ、学校と調整する。

<小川委員長>

答弁が長くなると時間がすぐになくなってしまうので、簡潔な答弁となるよう、部長会議で確認していただきたい。

<事務局長>

25日に答弁調整の部長会議がある。再度確認しておきたい。

<平本副委員長>

市長は熱がこもると答弁が長くなるので、限られた時間内で答弁されるよう調整しておいた方がよい。

また、決議案については、今回は三上副委員長を中心に作成いただき、現場で話を聞くことが大事だと感じた。今後もそのように進められるとよいと考える。

<小川委員長>

広報広聴会議で来期に申し送る内容をまとめていきたいと考えている。

<並河委員>

中学生議会では、中学生は一括方式で質問を行うのか。

<平本副委員長>

そのとおりである。

<齋藤委員>

次回どのようにしていくかは、今後話し合っていけばよい。

<三上副委員長>

決議案の最後の部分は、自分たちががんばっていこうという内容を記載した。また、毎年中学生議会を実施してほしいという声もあったが、毎年はできないかもしれないという返事をしておいた。このことから、文案に「このような貴重な学びの場となった中学生議会を、今後も続けていただき、様々な形で、中学生が亀岡のまちづくりや政治に関心を持てる場に参加できるよう努力していただくことを心から望みます。」という内容を入れた。

<小川委員長>

決議案について、ほかに意見はないか。

<並河委員>

「自分たちのまちも多くの被害が生まれたということがあります。」とあるが、「生まれた」という部分をほかの表現にしてはどうか。

<平本副委員長>

「自分たちのまちも多くの被害に見舞われたということがあります。」としてはどうか。

<小川委員長>

意見のあったように整理する。

—全員了—

<並河委員>

「学校やまちをよりよくする施策がどのようにして生まれるのか、」とあるが、「生まれるのか」という部分をほかの表現にしてはどうか。

<三上副委員長>

「学校やまちをよりよくする施策がどのようにして計画・実行されるのか、」としてはどうか。

<小川委員長>

意見のあったように整理する。

—全員了—

<小川委員長>

決議案について、ほかに意見はないか。

<齊藤委員>

学校をよくするためには、教育委員会や市ではなく、教育現場に伝えなければならないのではないか。

<小川委員長>

実際に声を聞いて作成いただいたものである。今回は中学生が感じた内容から作成するものである。

<齊藤委員>

最後の「一」の2番目と3番目の項目をまとめてはどうか。

<小川委員長>

意見のあったように整理する。

—全員了—

<小川委員長>

決議案について、ほかに意見はないか。

<齊藤委員>

送迎バスで育親中学校に行くこととなっているが、議員の駐車スペースはどうなっているのか。

<事務局主事>

学校と調整し、育親中学校については齊藤委員と富谷委員で車を乗り合わせ、一緒に行っていただきたいと考えている。

<副課長>

学校と調整して、車1台を止めていただけるようにしている。

<平本副委員長>

議員の居住地もばらばらであり、基本的には乗り合わせることでおき、それができない場合にも対応できるように調整してはどうか。

<副課長>

各学校の台数を議員間で調整いただければ、台数を事務局から学校に伝えさせていただく。

<三上副委員長>

土曜日であり、教職員も全員出勤している訳ではないので、学校に駐車することは

可能なはずである。

<小川委員長>

事務局と学校で調整いただきたい。

<副課長>

そのように対応する。

<三上副委員長>

参加者は最新の資料となるよう、事務局で確認いただきたい。

<議事調査係長>

議席配置図の資料で16番、23番の中学生が変更になった。この資料が、現段階で最新のものとなっている。

<平本副委員長>

この後、議場でオリエンテーションの確認を行うので、該当する委員はよろしくお願ひしたい。

<三上副委員長>

次の議会だよりは11月15日に発行する。表紙は中学生議会の写真とし、特集は中学生議会と決算審査とする。このため、中学生議会の記事の後に一般質問の記事が続くこととなる。また、酒井議員の一般質問は16ページに掲載することとなる。

2 その他

[副課長 説明]

- ・中学生議会当日は、小川委員長以外の広報広聴会議委員については、4台のバスに添乗いただくが、資料の時刻を確認いただき、直接中学校に行ってくださいこととなる。事務局は午前8時30分までに市役所に集合する。
- ・広報広聴会議委員以外の議員については、中学生議会開始の午後0時30分までに市役所に来ていただき、全員協議会室等で視聴いただくようお願いしたい。
- ・当日、西側エレベーターの利用は時間によって規制を行う。正面玄関は一日開放しておく。これらのことはメールで各議員にお知らせする。

<小川委員長>

当日の次第は作成するのか。

<議事調査係長>

当日までに作成する。

<三上副委員長>

引率の教員も含めたバスの乗車名簿の作成をお願いしたい。

<小川委員長>

事務局により、そのように対応いただきたい。

散会 11:03